

一般財団法人 公園財団 公園・夢プラン大賞2020最優秀賞 黄金ふゆフェスタ・ なつフェスタ

- 実施団体/
恵庭ふるさと公園フェスタ実行委員会
(主催:黄金北町内会、黄金中央町内会)
- 実施公園/恵庭ふるさと公園
- 実施日/2018年2月4日～
2020年2月2日の期間中年2回

恵庭ふるさと公園を利用して『公園を使い倒そう!』をテーマに、様々な団体が夏と冬のイベントを企画・実施して来ました。3回目の黄金ふゆフェスタでは、雪のイグルー作り体験・道産子馬の馬ソリに乗って公園内コースを周遊・前日に行われたシーニックナイトのアイスキャンドルを再利用した、光と雪の回廊など、参加団体の持っているノウハウや人脈を活かし、様々なアイデアが集結したより楽しい内容となりました。イベント企画に参加した団体は、黄金北・黄金中央の町内会・公園管理者・保育園・中学校・高校・大学など幅広く、過去数年に渡って継続して行われており、地域活性化に繋がる活動が高く評価されての受賞となりました。

◎受賞プランの詳細は下記のアドレスで閲覧できます
https://yumeplan.prjf.or.jp/yumeplan20/jitsugen_01.html

12月10日▶
恵庭市長へ受賞報告を行いました



令和2年度 恵庭市町内会連合会役員

| | |
|--------|---|
| 会 長 | 下原干城 駒場町南町内会長 |
| 副 会 長 | 西口孝夫 上山口町内会長 茶園利紀 柏陽町西町内会長 渡邊三好 恵み野北町内会長 鏡貢 島松本町町内会長 |
| 事務局 長 | 北林優 福住町1丁目町内会長 |
| 事務局 次長 | 佐々木正博 駒場町北町内会長 |
| 会 計 長 | 関田豊 柏陽町東町内会長 |
| 理 事 | 小島一男 中恵庭町内会長 岡本和則 柏木町内会長 大西正男 恵み野里美町内会長 鶴田力 島松仲町町内会長 田中潤一 南島松町内会長 |
| 監 査 役 | 柴山富治彦 川沿町内会長 中村忠司 黄金北町内会長 市川慎二 下島松町内会長 |

自治活動研修視察



令和2年度自治活動研修視察を町内会長・自治会長30名の参加により、10月13日に開催しました。

研修地は今年度より本稼働しているごみ焼却施設と11月11日にオープンした花の拠点「はなふる」の2か所を見学しました。

ごみ焼却施設では、循環型ごみ処理システムについて下水終末処理場・汚泥乾燥施設とバイオガス発電施設と共に見学しました。

花の拠点「はなふる」では、拠点オープン前にセンターハウスの見学をし、研修を終了しました。

「こども110番」旗 寄贈



今年度も恵庭市建設業協会より、恵庭市町内会連合会に「セーフティハウス・こども110番」の旗が寄贈されました。

協会が2010年から続けている取り組みで市内の通学路に掲示を増やそうと町内会に協力を要請しているものです。

寄贈された旗は各町内会に2枚ずつ配布し、町内の目立つ場所に設置をお願いしました。



恵庭市
町内会連合会報
2021.1
vol.14

令和3年の新春を迎えて

新年あけまして

おめでとーございませう。

皆さまには、令和3年の輝かしき新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から、各般にわたり深いご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

近年、町内会においても急激な少子高齢化社会を迎え、地域住民の意識の変化等による連帯感の希薄化等、課題は山積しております。そのような状況の中、日々、地域住民の幸せのために頑張っておられる町内会長・自治会長をはじめ役員の方々、多くの市民の皆さまの頑張りに対し、心から敬意を表するものであります。

昨年は私たちの暮らす恵庭市においても新型コロナウイルスの感染拡大により、特に、高齢者の方においては果ごもり状態が多く見受けられ、健康管理面でも大きな支障が出ているのではと感じております。

各々の町内会・自治会においては、状況を見定め、行事等を中止するだけではなく、住んで良かったと感じることのできる地域社会を維持するため、知恵を働かせ、積極的に活動を行い、その存在価値を高めることが求められております。

恵庭市町内会連合会といたしましても、今後も地域住民が主体となった活動の活発化に努め、誰もが安心して暮らせる、住んで良かったと感じることのできるまちづくりに向けて努めてまいります。

私たちが、安心して暮らせる地域社会を維持するためには、地域住民の「絆」を強めることが必要です。

今、コロナ禍で恵庭市町内会連合会、町内会・自治会は厳しい状況にありますが、皆さまにはなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって幸せに満ち溢れた素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。



恵庭市町内会連合会会長
下原干城



募集

紙面で紹介したい
“ユニークな活動をしている人”
“がんばる人”の情報をお寄せください。

文京町町内会防災会 防災意識向上を 目指して



平成25年、防災会を発足して以来、年1回実施してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、屋外で体験型訓練を実施しました。



災害時の備えでは、基地・防災課から「避難時用の持ち出しバッグを準備する事が重要」、初期消火では、消防本部から「火事を発見したら最初にするべきことは、大きな声で“火事だー”と周囲に伝えること。それから初期消火してください。」と実技を交えた話がありました。

当日は、町内会会員、さわやかクラブ、幸町町内会長、恵庭中学校校長・教頭、恵庭中学校生徒11名、たよれーるみなみ、社会福祉協議会、文京デイサービス等関係者約70名が参加し、防



災の基本的な知識を深めることができました。会場受付では検温、消毒液で感染対策を徹底し、訓練を開始。

避難所には浴場が無いことを想定し、茂漁川からドラム缶に水を運ぶバケツリレーを行いました。中学生をはじめ多くの人の共同作業となりました。多少の反省点はありましたが良い経験が出来ました。

また、建物に閉じ込められた被害者を救出する訓練では、大ハンマーを使って窓やドアを壊す体験をし、自身が怪我をしな

いたための注意点等を確認しました。最後に避難所で提供されるアルファ米とクラッカーを配布し、訓練は終了しました。

参加した恵庭中学校生徒会会長石尾さんは「たくさんの方が参加していて、地域のつながりを実感できた。」と振り返りました。

防災は自助、共助、公助とあり、それぞれすべき課題はありますが、まずは「自分自身は何をすべきか」を今後のテーマとして行動してはいかがでしょうか。

おもしろ恵庭学

虚構の想像画が伝える 駅通の誤った歴史

文責:恵庭昭和史研究会
林 嘉男

国道36号線を札幌に向かうと島松沢があります。橋下を見おろすと、島松川が流れています。この川が恵庭市と北広島市の境界です。明治時代、この川の中心の左岸の北広島側が石狩の国、右岸の恵庭側が胆振の国でした。もともと駅通は、キロ数(里程標)によって設けられていました。右岸の恵庭側にあった島松駅通所は明治6年から明治17年まで胆振国島松駅通所として山田文衛門(初代)、山口安五郎(2代目)、鶴谷新次郎(3代目)が三代にわたって、島松駅通所

取扱人によって治められていました。明治10年4月にクラーク博士と学生たちが分かれた場所は、北海道大学百年史の出帳命令簿にも記載されている通り島松駅通所です。当時の取扱人は鶴谷新次郎でした。彼は明治14年に明治天皇が行幸された際にも取扱人として重責を担っています。

右記のこの絵は札幌側の道路が見え、さらに右の背後に中山久蔵翁らしき人物と家が描かれています。これは明らかにフィクションであります。ではなぜこの絵がまかり通ってしまうのか。それは、昭和9年にクラーク博士と学生たちが別れた地に記念碑を建てるために、当時学生だった佐藤昌介学長や宮部金吾博士が建設地を探しました。しかし、恵庭側の島松駅通所(現在は中島達明さん宅の島松沢137番地)は周辺に民家が建ち、当

時と様子が変わっていたので、北広島市側にある明治天皇のお休み所としての中山久蔵翁の行在所裏の丘に建立することにしたためです。そしてその行在所は北広島市の島松駅通所として国指定を受け現在も多くの見学者が訪れています。2020年12月発行の高名な道内誌でこの絵があたかも事実のように掲載し、北広島市がクラーク博士の別れの地としているのは明らかに歴史誤認です。



田中忠雄作「島松での別離」道庁赤レンガ庁舎内(1971年制作)

防犯カメラを 各地に設置

▼島松仲町

犯罪防止のため、全国的に防犯カメラを設置する市町村が多くなっています。恵庭市も「市民のひろば」や「生活環境改善要望」の中で設置要請の意見がありました。恵庭市町内会連合会は、恵庭市に対し「防犯カメラ設置に関する助成制度の創設」の要望書を平成30年に提出。翌元年、市は「恵庭市公共空間防犯カメラ設置補助金制度」を創設しています。この制度を活用した第1号は、島松仲町町内会が「島松仲町2丁目」に防犯カメラを設置。これを皮切りに、駒場町南町内会が「くろみ公園」に、若草地区町内会連合会が柏木中通りに架かる「JR跨線橋両端(柏陽町、中島町)」に設置。

昨年、市内に町内会所有の4台のカメラが設置され、これからも各地で設置計画があり、地域住民の皆様に安全安心を与えていきます。

若草地区▶

中島町内会 防災対策講習会

コロナ禍の今年、毎年実施している防災避難訓練に替え、10月17日、指定避難所の若草小学校を会場に防災対策講習会を実施しました。

当日は、町内会役員その他、若草地区連合会の町内会からも多数参加いただき、基地・防災課職員より「災害に備えて」と題し、過去の災害の状況や今後いつ起こるか分からない災害発生時の対応・避難行動などの対処について資料・映像を交え、講演を受けました。

後半は、6月に柏陽中学校で実施した「コロナ禍における避難所運営訓練」のビデオを視聴しました。



恵み野北町内会 映画交流で 100回達成

活字離れ、TV離れからスマホ・ゲームなど孤の世界がくらしの中心に移りつつある中、恵み野北町内会では人と人とのふれあいを通じて町内会活動を活性化するため、手持ちのなつかしい邦画・洋画のDVDを楽しもうというアイデアから平成24年にファンのを結成しました。月一回の無料のシネマサロン例会を続け、10月に100回の節目を迎えました。

当日は、恵庭ロケーション推進の会が制作した「恵庭館物語」の特別上映と、ノミネート4作品から投票で第1位となった、「第三の男」を鑑賞し、100回記念上映を祝いました。

現在、恵庭では図書館の定例会しか映画鑑賞の機会がないため、渡邊会長は「今後もできる限り続けたい」と語っています。

また、昨年秋、恵庭市民文芸の会主催市制施行50周年記念特別事業において会長の「アイ・ラブ・ふるさと・恵庭」が優秀賞教育長賞を受賞しました。



大町町内会 災害に備えて 「いつ、何を すべきか」



タイムライン検討会開催

大町地区の防災を考える大町町内会コミュニティ・タイムライン検討会を開催し、洪水のリスクと避難先など、事前の準備や行動について協議しました。

冒頭、片石会長から「大町地域の危険度を知り、その対策を皆さんと考えましょう」と挨拶があり、札幌開発建設部河川整備保全課の三上防災対策官から「河川改修や貯水池の整備といったハード対策も重要ですが、ハザードマップや災害時にいつ何をしなくてはならないかを事前に計画する“タイムライン”の作成というソフト面の取り組みも大切」との情報提供がありました。

その後、ワークショップでは台風による大雨で漁川と茂漁川が氾濫し、大町町内会のほぼ全域が浸水したと想定し、グループワークを行いました。

駒場3町内会 こまば交流館を 建設しています

駒場地区における町内会館建設は駒場3町内会に住む住民にとって長年に渡る夢でした。平成30年、前駒場町南町内会副会長桜田氏より、町内活動に使用して頂きたいと駒場4丁目の宅地524㎡の寄贈を受け、3町内会合同による町内会館建設が可能となりました。

会館の建設にあたっては、設計から建築、完成後の管理運営に至るまで3町内会で行うこととなっており、検討委員会を立上げ協議を重ね1月末には完成予定となっています。

会館名は「こまば交流館」とし、地域住民の交流や憩いの場として活用が期待されています。

